

米子コンベンションセンター

経済波及効果 推計調査結果報告書

平成 27 年 3 月

米子コンベンションセンター

指定管理者 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー



	1. 概要	1
	2. 経済波及効果の推計調査結果	・	2
	3. 「集会（全国）」の経済波及効果		3
	4. 「集会」の経済波及効果	5
目次	5. 「展示会」の経済波及効果	7
	6. 「音楽興行」の経済波及効果	9
	7. 「音楽・芸能」の経済波及効果	11
	8. まとめ	13

1. 概要

公益財団法人とっとりコンベンションビューローは、鳥取県への大会・会議の誘致をはじめとするコンベンション振興事業とともに、鳥取県立米子コンベンションセンター（以降当館とする）を指定管理者として運営している。

この経済波及効果の推計は、地域の経済界はもとより行政及び民間各分野、県民に対して広く当館の理解促進を図り、複合コンベンション施設の有効性を検証するために実施するものである。

今回の調査は、当館で平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日（以降平成 25 年度とする）に開催された催事と、催事の主催者への支出アンケート調査及び参加者への消費支出アンケート調査、当財団誘致課が発表した平成 25 年度コンベンション経済的波及効果推計調査報告書（以降「コンベンション報告書」とする）などを基礎データ（表 1）とし、平成 17 年度版鳥取県産業連関表を用いて経済波及効果を推計した。

尚、当報告書はあくまでも「集計」ではなく「推計」であり、結果は一つの目安として捉えるものである。

表 1. 利用状況（平成 25 年度）とアンケート実施件数（主催者・参加者）

	集会		展示会	音楽 興行	音楽・ 芸能	合計	
	集会 (全国)	集会 (大規模) (小規模)					
開催件数	44	230	2,469	30	15	143	2,931
参加者数	21,994	104,671	91,991	27,146	26,914	53,558	326,274
主催者 アンケート 実施件数	23 (※)	2	3	1	1	3	33
参加者 アンケート 実施件数	12 (※)	-	-	1	1	1	15

(単位: 件・人)

※コンベンション報告書のデータの中から、当館を利用したコンベンションを抽出した。

今回推計するにあたり当館の利用データを内容によって次の 5 つの種類に分けた。

1. 集会（全国）

集会の中で参集範囲が全国規模、もしくは範囲が広い学会・大会・会議

2. 集会

参集範囲が県内や山陰地区もしくはそれを問わない学会、研修会、講演会、会議など

- 大規模 多目的ホール・国際会議室・小ホールを使用するもの
- 小規模 会議室・情報プラザを使用するもの

3. 展示会

商品・サービス・情報などを展示、宣伝するためのイベントで、見本市、展示会、展覧会など

4. 音楽興行

プロモーターなどが主催する営利を目的とした大規模なコンサート

5. 音楽・芸能

「音楽興行」以外の文化イベントで、ピアノ発表会、アマチュアコンサート、演劇、舞踊など

これらの項目ごとに件数と参加者数を集計し、経済波及効果を推計する。（表 2）

表 2. 施設別種別開催データ（平成 25 年度）

施設	種別	件数	参加者数
多目的ホール	集会（全国）	20	16,730
	集会	35	50,073
	展示会	18	19,540
	音楽興行	15	26,914
	音楽・芸能	52	40,274
小ホール	集会（全国）	13	1,869
	集会	99	20,968
	展示会	0	0
	音楽興行	0	0
国際会議室	音楽・芸能	87	12,012
	集会（全国）	11	3,395
	集会	96	33,630
	展示会	12	7,606
第 1～8 会議室・ 情報プラザ	音楽興行	0	0
	音楽・芸能	4	1,272
	集会	2,469	91,991
合計		2,931	326,274

(単位: 件・人)

2. 経済波及効果の推計調査結果

直接的経済波及効果 22.35 億円
 間接的経済波及効果 13.21 億円
 総額 35.56 億円

雇用者所得誘発効果 11.31 億円
 就業誘発数 436 人

図 1：種別 直接的・間接的経済波及効果

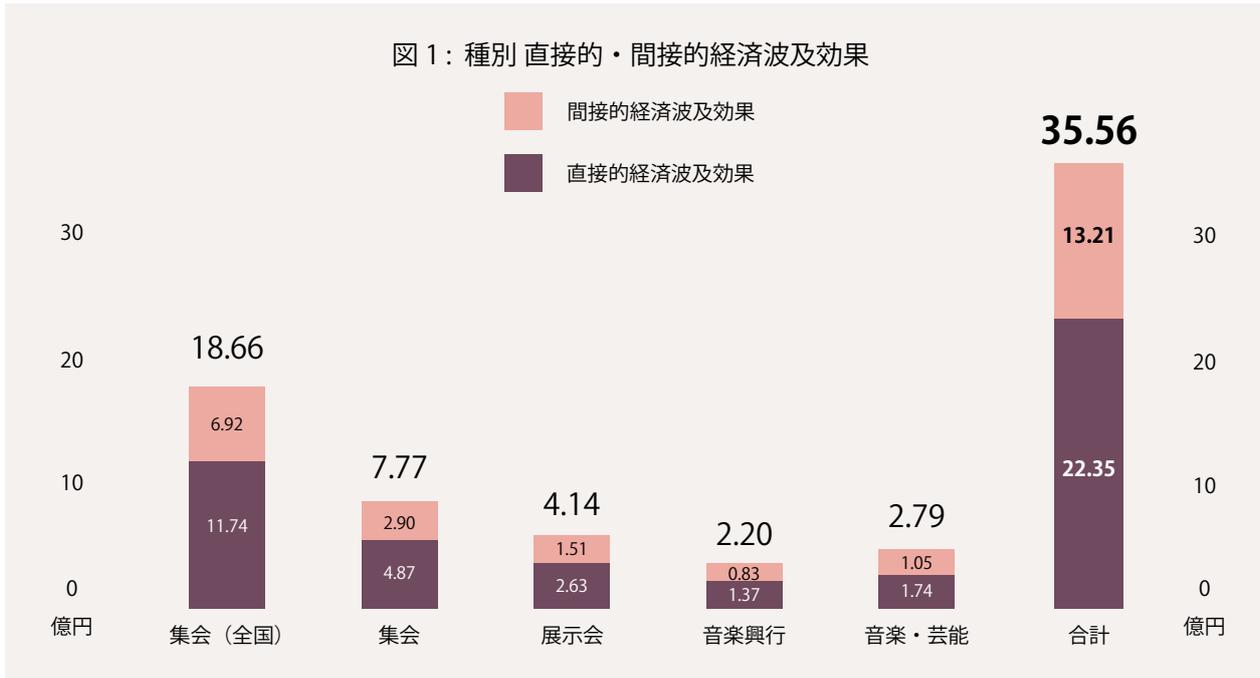


図 2：雇用者所得誘発効果



図 3：就業誘発数

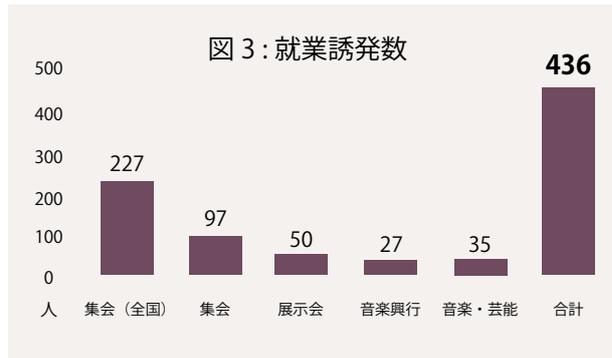


図 4：催事件数

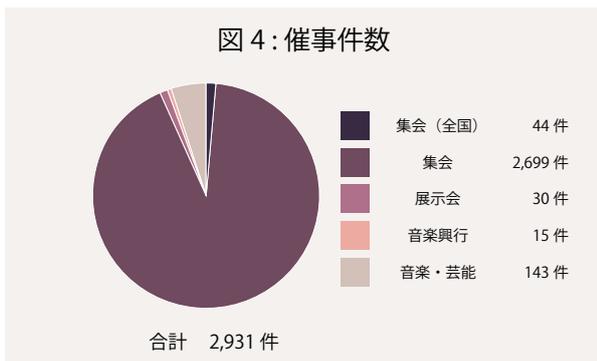
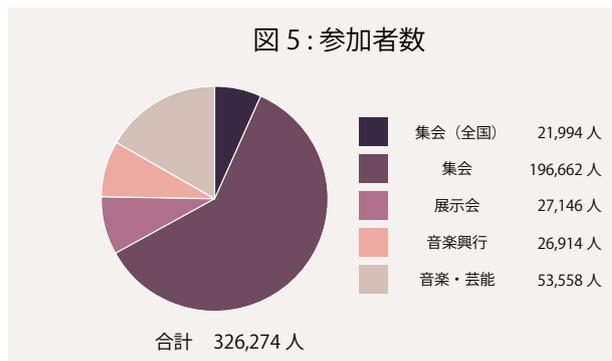


図 5：参加者数



3. 「集会（全国）」の経済波及効果

I 主催者関連支出合計額の推計

主催者関連支出額とは、イベント開催に伴い主催者が支出する経費で、会場費・設備工事費・機材レンタル費・印刷製本費・通信運搬費・臨時雇用費などがある。

まず、当館で開催された当財団コンベンション開催助成金の交付対象となった23件の「大会・会議」の主催者関連支出額について、1件当たりの平均額を主会場（多目的ホール・小ホール・国際会議室）に分けて算出した。次にそのデータをもとに平成25年度に開催された集会44件を乗じ、合算したもので推計した。（表3）

表3. 主催者関連支出額

	助成金対象		全体	
	開催件数	1件あたりの平均額	開催件数	主催者関連支出額合計
多目的ホール	12	23,222,000	20	464,440,000
小ホール	5	2,024,000	13	26,312,000
国際会議室	6	10,337,000	11	113,707,000
合計	23		44	604,459,000

(単位:円)

結果、主催者関連支出合計額は **604,459,000円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

参加者関連支出とは参加者が支出する経費で、主に宿泊費・交通費・飲食費・土産購入費・観光娯楽費などがある。

まず、コンベンション報告書より消費支出アンケートを実施した12件の集会（全国）の参加者を、県内参加者、県外参加者のうち県内宿泊者、その他（日帰りや県外宿泊など）の3つの項目に分け、それらの費用項目別の平均消費額を推計した。（表4）

表4. 一人あたりの参加者支出額

	県内参加者	県外参加者	
		県内宿泊	その他
宿泊費	0	15,568	0
飲食費	1,231	9,562	2,848
土産代	308	7,289	4,091
交通費	923	3,445	3,424
観光・娯楽費	77	1,403	91
その他	0	968	0
合計	2,539	38,235	10,454

(単位:円)

次にコンベンション報告書の助成金交付対象となった23件のデータをもとに県外参加者について、「県内宿泊」と「その他」に振り分けた上で比率を出し、その比率に基づき県外参加者数全体の内訳を推計した。（表5）

表5. 県外参加者内訳推計（集会（全国））

	県内参加者	県外参加者		合計(実数)
		県内宿泊	その他	
助成金交付対象	3,169 (23.5%)	8,394 (62.3%)	1,906 (14.2%)	13,469
全参加者	5,169	13,702	3,123	21,994

(単位:人)

表5の参加者内訳推計数をもとに平成25年度に当館で開催された集会（全国）44件の参加者数に乘じ、合算したもので推計した。（表6）

表6. 全参加者（21,994人）の参加者支出合計

	県内参加者 5,169人	県外参加者		合計 21,994人
		県内宿泊 13,702人	その他 3,123人	
宿泊費	0	213,312,736	0	213,312,736
飲食費	6,363,039	131,018,524	8,894,304	146,275,867
土産代	1,592,052	99,873,878	12,776,193	114,242,123
交通費	4,770,987	47,203,390	10,693,152	62,667,529
観光・娯楽費	398,013	19,223,906	284,193	19,906,112
その他	0	13,263,536	0	13,263,536
合計	13,124,091	523,895,970	32,647,842	569,667,903

(単位:円)

結果、参加者関連支出合計額は **569,667,903円**と推計した。

III 直接的経済波及効果の推計

I・IIから、

主催者関連支出合計額 604,459,000円
 参加者関連支出合計額 569,667,903円
 合計 **1,174,126,903円(A)**

が「集会（全国）」の直接的経済波及効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

生産誘発効果とは、最終需要額の投入により新たに誘発された効果であり、一次波及効果と二次波及効果に分けられる。

一次波及効果は直接的経済波及効果を産業連関分析にかけることによって推計される。推計された数値は、新たに誘発された経済効果の大きさを表している。

二次波及効果は一次波及効果推計によって求められた雇用者所得誘発額に、可処分所得に占める消費支出額の割合を係数化したものを乗じ、新たに創出される消費誘発額を導き出し、その数を産業連関分析にかけることによって求められる。

推計された最終需要額（直接的経済波及効果）を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果全体（表7）を推計した。

表7. 全体の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果		一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産増加額	1,174	生産誘発額	646	542	1,188
雇用者 所得額	402	雇用者所得 誘発額	174	140	314
就業誘発数	167	就業誘発数	54	46	100

（単位：百万円、人）

表7は鳥取県外への効果も含まれているので、更に産業連関表を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。（表8）

表8. 鳥取県内の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果		一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産増加額	1,174	生産誘発額	362	330	692
雇用者 所得額	402	雇用者所得 誘発額	104	87	191
就業誘発数	167	就業誘発数	32	28	60

（単位：百万円、人）

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果	361,751,937 円
二次波及効果	330,292,515 円
合計	692,044,452 円 (B)

が「集会（全国）」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発効果・就業誘発数

雇用者所得額は、直接的経済波及効果により新たに得られる雇用者の所得で、就業者誘発数は効果により創出される就業者の増加数である。

表8で鳥取県内の雇用者所得誘発効果と就業者誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発効果	593,251,254 円
就業誘発数	227 人

VII 経済波及効果のまとめ（集会（全国））

「集会（全国）」による経済波及効果は

直接的経済波及効果 (A)

1,174,126,903 円

間接的経済波及効果 (B)

692,044,452 円

合計 **1,866,171,355 円**

雇用者所得誘発効果

593,251,254 円

就業誘発数

227 人

と推計した。

直接的経済波及効果と、間接的経済波及効果の一つの生産誘発効果を加えたものは、「生産誘発効果の総額」として経済波及効果の大きさを測る一つの「ものさし」とされる。

4. 「集会」の経済波及効果

「集会」とは全国大会など参集範囲が広い集会を除いたもので、地元主催者が開催する講演会や企業の社内ミーティングなどの比較的小規模なものが多い。

今回は経済波及効果の推計方法は、コンベンション開催助成金交付対象の「大会・会議」データから当館で開催された参加者数が300名以下の「大会・会議」2件の主催者関連支出額と、当館が収集した参加者アンケートから参加者関連支出額を推計する。

I 主催者関連支出合計額の推計

「集会」は多目的ホール・小ホール・国際会議室で開催される参加者が300名から2,000名の大規模なもの、第1会議室（45名収容）など小さな会議室で開催される数名から100名程度の小規模のものに分けられる。

まず大規模な集会の推計は、コンベンション開催助成金交付対象の中から当館で開催された2件の「大会・会議」の主催者関連支出額をもとに1件当たりの平均額を算出し、その平均額に平成25年度に多目的ホールなどで開催された「集会」230件の合計数を乗じて推計した。

小規模な集会については、会議室を利用した主催者3団体にアンケートを実施し、そのデータに大規模な集会と同様に合計数2,469件を乗じて推計した。（表9）

表9. 主催者関連支出額

	1件あたりの平均額	件数	主催者関連支出額
集会（大規模）	841,000	230	193,430,000
集会（小規模）	12,000	2,469	29,628,000
合計	-	2,699	223,058,000

（単位：円）

結果、主催者関連支出合計額は
223,058,000円と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

大規模集会と小規模集会とでは参加者の属性が異なる。大規模なものは県外からも多くの参加者が訪れるが、小規模集会ではほとんどが県内者（もしくは県外でも近距離）であると予想される。

今回は参加者数の県内外の内訳を把握していないため、平成25年度に当館で調査した企業展示会の参加者支出アンケートから県内者の支出データを利用し、参加者関連支出額を推計した。

集会（大規模）は参加者のほとんどが県内者と仮定し、平成25年調査した企業展示会の参加者アンケートの一人あたりの参加者関連支出額に表1の集会（大規模）の参加者数104,671人を乗じて推計した。（表10）

表10. 参加者関連支出額合計（集会（大規模））

	全参加者数（104,671人）	
	一人あたり	合計
宿泊費	0	0
飲食費	616	64,477,336
土産代	256	26,795,776
交通費	119	12,455,849
観光・娯楽費	0	0
その他	349	36,530,179
合計	1,340	140,259,140

（単位：円）

次に集会（小規模）の算出についても、参加者は全て県内者と仮定して、平成25年に調査した企業展示会の参加者関連支出額に集会（小規模）の参加者数91,991人を乗じて集会（小規模）の参加者関連支出額合計を推計した。（表11）

表11. 参加者関連支出額合計（集会（小規模））

	全参加者数（91,991人）	
	一人あたり	合計
宿泊費	0	0
飲食費	616	56,666,456
土産代	256	23,549,696
交通費	119	10,946,929
観光・娯楽費	0	0
その他	349	32,104,859
合計	1,340	123,267,940

（単位：円）

集会（大規模）と集会（小規模）の参加者関連支出額を合算すると全体の参加者関連支出額が推計できる。

結果、参加者関連支出合計額は
263,527,080円と推計した。

III 直接的経済波及効果の推計

I・IIから、

主催者関連支出合計額 223,058,000 円
 参加者関連支出合計額 263,527,080 円
 合計 **486,585,080 円 (C)**

が「集会」の直接的経済波及効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

生産誘発効果の推計は、「集会（全国）」と同様に推計された最終需要額（直接的経済波及効果）を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。（表 12）

表 12. 全体の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	485	生産誘発額	268	222	490
雇用者所得額	165	雇用者所得誘発額	71	57	128
就業誘発数	72	就業誘発数	23	19	42

（単位：百万円、人）

表 12 は鳥取県外への効果も含まれているので、更に産業連関表を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。（表 13）

表 13. 鳥取県内の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	485	生産誘発額	153	136	289
雇用者所得額	165	雇用者所得誘発額	43	36	79
就業誘発数	72	就業誘発数	13	12	25

（単位：百万円、人）

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果 153,494,699 円
 二次波及効果 136,076,638 円
 合計 **289,571,337 円 (B)**

が「集会」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発効果・就業誘発数

雇用者所得額は、直接的経済波及効果により新たに得られる雇用者の所得で、就業者誘発数は効果により創出される就業者の増加数である。

表 14 で鳥取県内の雇用者所得誘発効果と就業者誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発効果 244,412,551 円
 就業誘発数 97 人

VII 経済波及効果のまとめ（集会）

「集会」による経済波及効果は

直接的経済波及効果 (A) **486,585,080 円**

間接的経済波及効果 (B) **289,571,337 円**

合計 **776,156,417 円**

雇用者所得誘発効果

244,412,551 円

就業誘発数

97 人

と推計した。

5. 「展示会」の経済波及効果

展示会は県内企業などが顧客や一般人に向けて開催するもので、展示会出展者は県内外から広く集まり、来場者は県内者が多い。

ここではある企業の展示会開催時に主催者、出展者、参加者にアンケートを行い、主催者支出と参加者支出を調査した。

I 主催者関連支出合計額の推計

当館が調査した展示会的主催者関連支出額をもとに、平成25年度に開催された展示会の30件を乗じて主催者関連支出合計を推計した。(表14)

表14. 主催者関連支出額 (展示会)

件数	1件あたりの平均額	主催者関連支出合計
30	7,177,000	215,310,000

(単位:円)

結果、
「展示会」の主催者関連支出合計額は
215,310,000円と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

展示会の参加者については主催者関連支出と同様にアンケートで収集した参加者支出データ(表11)をもとに一人あたりの参加者支出から全体の参加者支出を推計した。(表15)

表15. 全参加者の現地支出

	県内参加者 (16,722人)		県外参加者 (10,424人)		全参加者 (27,146人)
	一人あたり	小計	一人あたり	小計	合計
宿泊費	0	0	720	7,505,280	7,505,280
飲食費	616	10,300,752	1,120	11,674,880	21,975,632
土産代	256	4,280,832	480	5,003,520	9,284,352
交通費	119	1,989,918	0	0	1,989,918
観光 娯楽費	0	0	40	416,960	416,960
その他	349	5,835,978	120	1,250,880	7,086,858
合計	1,340	22,407,480	2,480	25,851,520	48,259,000

(単位:円)

結果、参加者関連支出合計額は
48,259,000円と推計した。

III 直接的経済波及効果の推計

I・IIから、
主催者関連支出合計 215,310,000円
参加者関連支出合計 48,259,000円
合計 **263,569,000円(E)**
が「展示会」の直接的経済波及効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

生産誘発効果の推計は、集会などと同様に推計された最終需要額(直接的経済波及効果)を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。(表16)

表16. 全体の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	264	生産誘発額	135	126	261
雇用者所得額	96	雇用者所得誘発額	37	32	69
就業誘発数	37	就業誘発数	11	11	22

(単位:百万円、人)

表16は鳥取県外への効果も含まれているので、更に産業連関表を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表17)

表17. 鳥取県内の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	264	生産誘発額	74	77	151
雇用者所得額	96	雇用者所得誘発額	22	20	42
就業誘発数	37	就業誘発数	6	7	13

(単位:百万円、人)

V 間接的経済波及効果の推計

IVから、

一次波及効果	74,122,471 円
二次波及効果	76,755,231 円
合計	150,877,702 円 (F)

が「展示会」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発効果・就業誘発数

表 17 で鳥取県内の雇用者所得誘発効果と就業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発効果	137,863,061 円
就業誘発数	50 人

VII 経済波及効果のまとめ（展示会）

「展示会」による経済波及効果は

直接的経済波及効果 (E)	263,569,000 円
間接的経済波及効果 (F)	150,877,702 円
合計	414,446,702 円

雇用者所得誘発効果	137,863,061 円
就業誘発数	50 人

と推計した。

6. 「音楽興行」の経済波及効果

当館で開催される音楽や芸能のイベントは大きく二つに分けられる。ピアノ教室の発表会や高校のクラブ活動の演奏会・演劇発表会、アマチュア団体のコンサートなど入場料が無料もしくは少額のもの、多目的ホールを利用した大規模なコンサートなどで入場料をとることで利益を得る団体が催すものがある。ここでは大規模なコンサートを「音楽興行」、それ以外の「音楽・芸能」と分けて経済波及効果を推計する。

I 主催者関連支出合計額の推計

コンサートを主催する大手プロモーターにコンサートを当館で開催した際の経費をアンケート調査した。その1件あたりの主催者関連支出額は次のとおりである。(表18)

それに平成25年4月から平成26年3月までに当館で開催されたコンサートなど大手プロモーターが関わった音楽公演15件を乗じて主催者関連支出合計額を推計した。

表18. 主催者関連支出額

一件あたりの主催者関連支出額	開催件数	主催者関連支出合計
2,224,000	15	33,360,000

(単位:円)

結果、「音楽興行」の主催者関連支出合計額は**33,360,000円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

大手プロモーターが開催するコンサートの参加者は地元だけでなく全国から集まる傾向にある。今回はあるコンサートで参加者に聞き取り調査を行い、一人あたりの参加者関連支出額と、それに音楽興行の参加者全体26,914人を乗じて参加者関連支出合計額を推計した。(表19)

表19. 参加者関連支出合計額

	一人あたり	全参加者 (26,914人)
宿泊費	760	20,454,640
飲食費	2,160	58,134,240
土産代	340	9,150,760
交通費	480	12,918,720
観光 娯楽費	80	2,153,120
その他	20	538,280
合計	3,840	103,349,760

(単位:円)

結果、参加者関連支出合計額は**103,349,760円**と推計した。

III 直接的経済波及効果の推計

I・IIから、

主催者関連支出合計額 33,360,000円
参加者関連支出合計額 103,349,760円
合計 **136,709,760円 (G)**

が「音楽興行」の直接的経済波及効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

推計された最終需要額(直接的経済波及効果)を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。(表20)

表20. 全体の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果		一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産増加額	137	生産誘発額	78	61	139
雇用者 所得額	45	雇用者所得 誘発額	20	16	36
就業誘発数	20	就業誘発数	7	5	12

(単位:百万円、人)

表20は鳥取県外への効果も含まれているので、更に産業連関表を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表21)

表21. 鳥取県内の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果		一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産増加額	137	生産誘発額	45	37	82
雇用者 所得額	45	雇用者所得 誘発額	13	10	23
就業誘発数	20	就業誘発数	4	3	7

(単位:百万円、人)

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果	45,243,576 円
二次波及効果	37,416,418 円
合計	82,659,994 円 (H)

が「音楽興行」の
間接的経済波及効果と推計した。

IV 雇用者所得誘発効果・就業誘発数

表 21 で鳥取県内の雇用者所得誘発効果と就業誘発数も算出している。結果は以下のとおりである。

雇用者所得誘発効果	67,205,085 円
就業誘発数	27 人

VII 経済波及効果のまとめ（音楽興行）

「音楽興行」による経済波及効果は

直接的経済波及効果 (G)	136,709,760 円
間接的経済波及効果 (H)	82,659,994 円
合計	219,369,754 円

雇用者所得誘発効果	67,205,085 円
就業誘発数	27 人

と推計した。

7. 「音楽・芸能」の経済波及効果

「音楽・芸能」の経済波及効果については、主催者支出と参加者支出をそれぞれ主催者と参加者にアンケート調査を行い、そのデータを用いて推計する。

I 主催者関連支出合計額の推計

地元アマチュア団体などイベント主催者から収集した主催者支出額に平成 25 年度に開催された音楽・芸能イベント 143 件を乗じて主催者関連支出額合計を推計した。(表 22)

表 22. 主催者関連支出額

一件あたりの主催者関連支出額	開催件数	主催者関連支出合計
345,000	143	49,335,000

(単位:円)

結果、「音楽・芸能」の主催者関連支出合計額は **49,335,000 円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

参加者支出額については地元アマチュア団体のイベント参加者のアンケートデータをもとに一人あたりの参加者支出額を算出し、それに全参加者数 53,558 人を乗じて参加者関連支出合計額を推計した。(表 23)

表 23. 参加者関連支出合計額 (音楽・芸能)

	一人あたり	全参加者 (53,558 人)
宿泊費	0	0
飲食費	837	44,828,046
土産代	512	27,421,696
交通費	302	16,174,516
観光娯楽費	70	3,749,060
その他	605	32,402,590
合計	2,326	124,575,908

(単位:円)

結果、参加者関連支出合計額は **124,575,908 円**と推計した。

III 直接的経済波及効果の推計

I・IIから、

主催者関連支出合計額 49,335,000 円
 参加者関連支出合計額 124,575,908 円
 合計 **173,910,908 円 (G)**

が「音楽・芸能」の直接的経済波及効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

推計された最終需要額(直接的経済波及効果)を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。(表 24)

表 24. 全体の生産誘発効果 (一次・二次波及効果)

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	174	生産誘発額	96	80	176
雇用者所得額	60	雇用者所得誘発額	25	21	46
就業誘発数	26	就業誘発数	8	7	15

(単位:百万円、人)

表 24 は鳥取県外への効果も含まれているので、更に産業連関表を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表 25)

表 25. 鳥取県内の生産誘発効果 (一次・二次波及効果)

	直接効果		一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	174	生産誘発額	56	49	105
雇用者所得額	60	雇用者所得誘発額	16	13	29
就業誘発数	26	就業誘発数	5	4	9

(単位:百万円、人)

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果 56,229,668 円
 二次波及効果 49,228,606 円
 合計 **105,458,274 円 (J)**

が「音楽・芸能」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発効果・就業誘発数

表 26 で鳥取県内の雇用者所得誘発効果と就業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発効果	88,421,417 円
就業誘発数	35 人

VII 経済波及効果のまとめ（音楽・芸能）

「音楽・芸能」による経済波及効果は

直接的経済波及効果 (I)	173,910,908 円
間接的経済波及効果 (J)	105,458,274 円
合計	279,369,182 円

雇用者所得誘発効果	88,421,417 円
就業誘発数	35 人

と推計した。

8. まとめ

I 経済波及効果の詳細

今回は経済波及効果を集会・展示会・音楽・芸能などの種別に分けて推計した。その種別の合計と一件あたりの経済波及効果は以下のとおりである。(表 26、表 27)

表 26. 経済波及効果 (種別)

	集会 (全国)	集会	展示会	音楽興行	音楽・芸能	合計
件数	44	2,699	30	15	143	2,931
直接効果	1,174,126,903	486,585,080	263,569,000	136,709,760	173,910,908	2,234,901,651
間接効果	692,044,452	289,571,337	150,877,702	82,659,994	105,458,274	1,320,611,759
合計	1,866,171,355	776,156,417	414,446,702	219,369,754	279,369,182	3,555,513,410

(単位: 件・円)

表 27. 一件あたりの経済波及効果 (種別)

	集会 (全国)	集会	展示会	音楽興行	音楽・芸能
件数	44	2,699	30	15	143
直接効果	26,684,702	180,283	8,785,633	9,113,984	1,216,160
間接効果	15,728,283	107,289	5,029,257	5,510,666	737,470
合計	42,412,985	287,572	13,814,890	14,624,650	1,953,630

(単位: 件・円)

上記推計値から、集会 (全国)・展示会・音楽興行の経済波及効果が大きく、これらの利用促進を積極的に進めることが地域への経済波及効果をより高めることができると推測できる。

II 今後の経済波及効果推計調査について

精度の高い経済波及効果推計を行うためには、基礎データのもとになる主催者支出や参加者支出のアンケートのサンプル数を増やさなければならない。

この報告書により、当財団の取り組みの一定の成果を数値化・可視化することで地域が複合コンベンション施設の有意性を認識して、更なるコンベンション実施の機運を高められると考える。

コンベンションが開催されるということは、経済面での波及効果以外に、交流人口増大による相互理解の増進、多様なネットワークの確立など社会的効果、文化的効果も大きい。より多くのコンベンションを当館で開催することで、地域に様々な効果をもたらすことが我々に求められている役割である。

出典

「平成 25 年度コンベンション経済波及効果推計報告書」
公益財団法人とっとりコンベンションビューロー 作成

米子コンベンションセンター

指定管理者

公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

鳥取県米子市末広町 294 番地

TEL 0859-39-0777

FAX 0859-39-0700

<http://www.bighsip.or.jp>

